



令和8年5月8日

東北数学教育学会「第31回初夏研究会」プログラム (第二次案内)

東北数学教育学会会長 森本 明
(第31回初夏研究会当番校)

東北数学教育学会事務局

主催：東北数学教育学会
後援：福島大学

東北数学教育学会第31回初夏研究会を以下のプログラムで開催します。

今回は、福島大学（福島大学共通講義棟（中）M-1教室）における対面での開催となります。

ご参会のほどよろしくしお願い申し上げます。

1 日時 2026（令和8）年5月23日（土） 9:50—15:30

2 参加費 無料

3 プログラム

9:30 ~	受付
9:50 ~ 10:00	開会行事 ・ 会長挨拶 ・ 会場校あいさつ ・ 諸連絡
10:00 ~ 10:30	研究発表①
10:35 ~ 11:05	研究発表②
11:15 ~ 11:45	研究発表③
11:50 ~ 12:20	研究発表④
12:20 ~ 13:20	昼食
13:20 ~ 13:50	研究発表⑤
13:55 ~ 14:25	研究発表⑥
14:30 ~ 15:00	研究発表⑦
15:15 ~ 15:30	総会

<開会行事次第> 進行 東城 恵

- 1 開会（事務局）
- 2 会長挨拶（森本 明）
- 3 会場校挨拶（森本 明）
- 4 会場校からの諸連絡（東城 恵）

4 研究発表（10:00～12:20）（13:20～15:00）

午前（前半）

発表 ①（10:00～10:30）

発表者氏名(所属)：小野 日菜子（宮城教育大学大学院・院生），市川 啓（宮城教育大学）

発表題目：加法構造としての捉えを乗法構造と捉え直す力の育成
－「同じ部分」を作り出す児童の考えの考察－

キーワード：加法構造から乗法構造，同じ部分，等分

発表概要：

二量全体を加法構造として捉えられる場面において，二量の「差」を基準とした乗法構造と捉え直すことによって，児童は「同じ部分」に着目することができた。また，「同じ部分」に着目することが，等分の考えを促し，初めの二量を求めることができた児童の様子を考察した。

発表 ②（10:35～11:05）

発表者氏名(所属)：長谷川 佳音（宮城教育大学大学院・院生）

発表題目：関係を捉え、問題解決する力を育成する学習指導

キーワード：関係に基づく解決

発表概要：

算数・数学の問題解決においては，関係を捉えることがポイントになる。子供たちは量に着目はできるが，関係を取り出して，それを問題解決に活かすことが得意とは言えない。二量の関係を捉えることが解決に有効な場面において，関係を捉える難しさを探り，関係を捉えやすくするための手立てについて検討する。

午前（後半）

発表 ③（11:15～11:45）

発表者氏名(所属)：渡部 菜緒（宮城教育大学大学院・院生），市川 啓（宮城教育大学）

発表題目：分数で量を表す学習の困難性

キーワード：分数で量を表す，量分数の学習の困難性

発表概要：

量は基準量と割合をセットにして表現する。割合が整数値のときは，特に問題は生じないが，割合が分数になると適切に量を表せなくなることがある。分数で量を表そうとしたときの難しさを，調査問題や授業の子どもの反応等から考察し，授業の改善に繋げるための示唆を得る。

発表 ④（11:50～12:20）

発表者氏名(所属)：市川 啓（宮城教育大学），成澤 結香里（山形大学附属小学校）

発表題目：分数の乗除の学びの価値の探究

キーワード：分数の乗除，学びの価値

発表概要：

小数と分数は表記の仕方は違うが，有理数という点では同じ数である。小数と分数を同じとみるならば，第5学年の小数の乗除と第6学年の分数の乗除の学習の違いは何だろうか。分数の乗除を学ぶことの価値を検討する。

午後

発表 ⑤（13:20～13:50）

発表者氏名(所属)：安藤 大和（宮城教育大学大学院・院生）

発表題目：関数の考えの学習指導の一考察－現代化の視点から－

キーワード：関数の考え，現代化，集合，独立変数

発表概要：

関数の考えの育成には，事象の中の数量を意図的に変化させ，考察を行う活動の重要性が現代化の時代に述べられている。特に順序よく変えることが難しい問題を扱うことで，児童が自ら観点を持って事象を理解しようとする姿が見られた。本発表では，その具体的な手立てについて述べる。

発表 ⑥ (13:55~14:25)

発表者氏名(所属) : 門脇 悠斗 (宮城教育大学大学院・院生)

発表題目 : 妥当なモデルを創り上げる過程を重視した教材開発と学習指導
: 関数を決定する場面に着目して

キーワード : 数学的モデル化, 反比例, 妥当性, 関数の決定

発表概要 :

中学校第1学年の関数分野の学習において, 2つの関数モデルを仮定し, 解決することができる教材を開発した。得た結論のズレを契機として, 仮定や解決を見直し, 場面に応じた妥当な数学的モデルを創り上げていく生徒の姿を示し, 学習指導における示唆を述べる。

発表 ⑦ (14:30~15:00)

発表者氏名(所属) : 小林 倫之 (福島大学附属中学校)

発表題目 : 証明の構造を捉える指導の工夫による数学的資質・能力の育成
— 逆向き証明・補助線ノート・リレー証明の実践を通して—

キーワード : 証明の構造, 逆向き証明, 補助線, リレー証明, 論理的表現

発表概要 :

本研究は, 証明を「論理の構造」として捉える力の育成を目的とし, 逆向き証明・補助線ノート・リレー証明といった指導法を導入した実践である。相似と円の単元において段階的に指導した結果, 論理の見通しや記述の妥当性が向上し, 証明を構造的に捉える生徒の変容が確認された。

5 総会 (15:15~15:30)

出席は, 会員の方のみとなります。

6 参加にあつて

◎参加者・参加人数等を把握するため、以下から参加のお申し込みを願ひします（前日までに願ひします）。なお、発表のお申し込みをされた方も、参加のお申し込みを願ひします。

<https://forms.gle/Rt6TDBXiyAM3JBDh6> → 参加申込のフォームのURL



スマートフォン等で左のQRコードを読み込んで
いただいても申込フォームに接続します。

7 今年度年会費の振込みの願ひ

年会費（¥2,000）は振込みにて願ひいたします。

（すでにお支払いいただいている方におかれましては、二重のご案内になってしまい申し訳ございません。）

振込先は以下の通りです。

【金融機関名】 ゆうちょ銀行

【店名】 八一八（読み ハチイチハチ）

【店番】 818

【貯金種目】 普通貯金

【口座番号】 4328089

※大変申し訳ありませんが、手数料がかかった場合はご負担を願ひいたします。

8 その他

昼食時、大学の食堂や購買のご利用をお考えの場合は、こちらのページ（<https://www.fukushima-u-coop.or.jp/store/time/>）で営業時間等をご確認ください。営業時間等が変更される場合があります。なお、会場から最寄りのコンビニエンスストア（金谷川駅に隣接）まで、徒歩10分程度かかります。

東北数学教育学会事務局

秋田大学教育文化学部 数学教育研究室内

電話 018-889-2532

e-mail skato@math.akita-u.ac.jp

担当 加藤 慎一 (KATO Shinichi)